

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)11月1日
所属名:大津・南部農産普及課
番号:A24009
発信者名:新谷



「びわほなみ」播種前研修会を開催

湖南地域農業センター主催で「びわほなみ」播種前研修会が開催され、当課から「びわほなみ」の品種特性と栽培のポイントを説明しました。

JAレーク滋賀管内では、これまで日本めん用小麦として「農林61号」や「シロガネコムギ」が栽培されていましたが、令和4年産から順次品種転換が行われ、令和7年産から「びわほなみ」に全面転換します。特に、令和7年産からは栽培面積が大きく増加することから、「びわほなみ」の早期定着を図るため、JAの営農経済センター単位で計5回開催し、生産者および関係機関からのべ120名の参加がありました。

研修会ではそれぞれの地区の栽培年数や普及している施肥体系など、地区の状況に合わせて説明を行いました。令和6年産では品種を問わず赤かび病の発生が非常に多かったことから、生産者からは防除方法や赤かび病が発生した際の対応について多く質問が寄せられました。今後は、赤かび病への対応を含め、「びわほなみ」の収量や品質が高い水準で安定するよう、関係機関と連携して支援を継続します。



研修会の様子